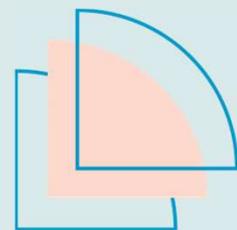


第11回 若手研究者フォーラム



人文学研究科では、研究推進室(若手支援部門)の企画として、若手研究者フォーラムを開催いたします。

このフォーラムは、大学院博士前期課程、後期課程、研究生を主な対象とし、研究発表経験の少ない若手研究者に専門外の幅広い分野の人文学研究者を聞き手とする、研究発表の機会を提供するための企画です。

発表者のうち、優秀発表者には、「第11回 人文学研究科優秀若手研究者奨励賞」を授与します。

学部生の皆様も、お気軽にご参加ください。

日時

2025年 9 月 29 日(月) 10:00 – 15:40

会場

大阪大学豊中キャンパス
文法経本館2階 大会議室 (A会場)
中庭会議室 (B会場)

午前
の部

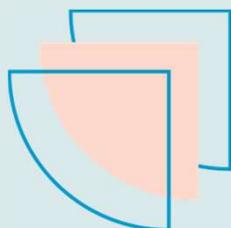
10:00 – 開会の辞 A会場・B会場

10:05 – 12:10 発表①～発表⑤ A会場・B会場

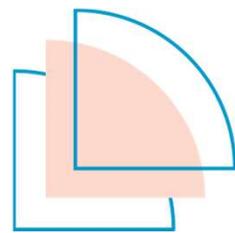
午後
の部

13:20 – 15:00 発表⑥～発表⑨ A会場・B会場

15:30 – 15:40 授賞式
閉会の辞 A会場



発表タイムスケジュール



大会議室(A会場)

10:00～	開会の辞	渡邊英理先生(研究推進室副室長・若手支援部門チーフ)		
10:05～	発表①	源清香	現代日本学 D1	近世琉球の外交と仏教僧ー古琉球からの変化に着目してー
10:30～	発表②	小山 愛桂	日本文学・日本語史学 M1	「織る」虫・「怨む」虫ー平安朝漢詩における「蚕」語群の詠法ー
10:55～	発表③	SEO YE-EUN	日本文学・日本語史学 M1	『古今和歌集』と『新古今和歌集』の嗅覚表現の表現構造ー四季部における視覚との対応を中心としてー
11:20～	発表④	盧 思雅	現代日本学 M2	〈反米〉と〈親中〉の間ー1950年代の辻政信を事例としてー
11:45～	発表⑤	杜 智勇	東洋史学 M2	五代十国における呉越国正統観の考察ー五代王朝との相違を中心としてー
13:20～	発表⑥	崔 珉誠	現代日本学 M1	金嬉老事件と戦後日本の知識人ー福田恒存の立場を手がかりとしてー
13:45～	発表⑦	森本 悠陽	日本文学・日本語史学 M2	芥川龍之介「京都日記」論ー同時代の京都に関する言説へ接続してー
14:10～	発表⑧	YAN WEICHEN	テキスト環境論 D1	異文化体験からうまれた「上海游记」
14:35～	発表⑨	井上 京音	日本文学・日本語史学 M1	『忠度集』季節詠にみえる不遇意識ー「三月尽」題を中心としてー

中庭会議室(B会場)

10:00～	開会の辞	桑木野幸司先生(研究推進室室長)		
10:05～	発表①	馬 超	演劇学 D2	「丁固夢松」故事小考ー十八歳の意味転換を中心としてー
10:30～	発表②	福島 尚子	アート・メディア論 M2	他者がもたらす公共ホールの揺らぎー『障害と向き合う美術館』を起点に考える、舞台芸術の取り組みー
10:55～	発表③	宮崎 慎一郎	日本東洋美術史学 M2	大阪市立東洋陶磁美術館所蔵《青花楼閣山水文角瓶》について
11:20～	発表④	楊 泓	哲学哲学史 D3	『政治的リベラリズム』における「理性的」という理念の再検討
11:45～	発表⑤	岸本 寿怜	音楽学 M2	日本の戦後大衆音楽史における「フュージョン」の再検討ー音楽雑誌『ADLIB』の言説空間に注目してー
13:20～	発表⑥	橋本 かれん	美学 M2	パーマカルチャーにおけるデザイナーと地域住民の協働
13:45～	発表⑦	瀧脇 嗣苑	美学 M1	「食べること」をデザインする意義とはなにかーマライエ・フォーゲルザングの実践を中心としてー
14:10～	発表⑧	水口 粹智	アート・メディア論 M2	アラン・レネのアート・ドキュメンタリー映画研究ー『ゲルニカ』(1950)におけるゲルニカの表象ー
14:35～	発表⑨	主藤 しゅう	臨床哲学 M1	「不安」とは何かを問うためにーフロイトにおける二つの「不安」理論ー

※発表 15分 質疑応答10分

